

えていく。そのプロセスに幸せがあると気づいたのです。

「辛い」という字は、横軸一本加えると「幸せ」になる。この一本をつなぐものがワーク・ライフ・バランスだと思えます。ワーク・ライフ・バランスは、企業や地域を活性化する特効薬ですが、残念ながら即効薬ではなく、漢方薬です。じわじわ効いてきて、いつしか強靱な経営体質、地域体質を作ります。今、ワーク・ライフ・バランスに取り組む企業が増えてきたとは言っても、目先の業績向上に目を奪われて後回しにする企業もまだまだ多いのが現状です。これから迎える介護の問題、少子化の問題に耐えられる職場作り、生活作りのためにも、ぜひワーク・ライフ・バランスに取り組んでいただきたい。今、私たちは分岐点に立たされています。ぜひ、勇気を出して最初の一步を踏み出しましょう。

★ 講演録まとめ

講演は130人が参加し、熱心に耳を傾けていました。終了後にも講師に質問する人が列をなし、ワーク・ライフ・バランスへ関心を高める場となったようです。

アンケート結果

● 熱意がすばらしく、刺激を受けました。私も人生、一生懸命に生きたいです。現在、在宅の仕事をしながら親の介護をしています。「ムダとり時間術」の本、読みたいです。(50代女性)

● 渥美さんが周りの方とやかに協力して、さまざまな困難を乗り越えて来たのが伝わりました。(20代男性)

● 笑いも交えながらワーク・ライフ・バランスをわかりやすく話してくださり、ありがとございます。東京新聞の日曜のコラムも楽しみに読んでいます。男性の意識改革はまだまだ時間がかかる気もしていますが、今日のお話を参考に私ができることから実践してみたいです。(40代女性)

● 本も読ませていただいていたので講演をお聞きできるのを楽しみにしていました。自分の仕事や生活にもぜひ活かしたいと思えます。(30代男性)

● 人生の先輩として、とても参考になりました。(30代女性)

経営者の方へ

企業としてワーク・ライフ・バランスに取り組むには？

自社でワーク・ライフ・バランスを取り入れたいとお考えの経営者の方も多いとは思いますが、まずどこから始めたらいいのかという場合、東京都が募集している次のような制度の利用を検討してみたいかがでしょうか？

■ アドバイスが欲しい!

ワークライフバランス推進専門家派遣

▶ 1社当たり5回まで、東京都から専門家を派遣し、具体的なアドバイスや提案を行います。

■ 助成を受けたい!

ワークライフバランス推進助成金

▶ ワークライフバランス推進費用として、1年度あたり最大100万円を助成します。

どちらも「TOKYOはたらくネット」にて募集しています。▶▶ <http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/>

また、上記制度を利用する場合、以下への登録が必要です。

■ とうきょう次世代育成サポート企業

- 東京ワークライフバランス推進企業ナビ(愛称:チャオ)への掲載 ▶ <https://www.wlbnavi-ciao.metro.tokyo.jp/>
- 登録ステッカーの交付
- 商工中金の「東京いきいき職場応援ローン」の利用

大田区でも登録企業が増えています。各企業のワーク・ライフ・バランスの取り組みについて知ることができ、就職・転職先を探す際にも活用できます。

いずれも、まずは東京都労働相談情報センター(03-5211-2248)の両立支援アドバイザーに相談を。